

## 住んでいる地域の「宝」を誇りに

### はじめに（概要）

新宮町、古賀市、福津市の各松原海岸（玄海国立公園）を結んだ線は、相島を中心の円弧を描き、全長は10kmに及び、また、西向きのため晴れた日には水平線に沈む美しい夕陽（サンセット）を見ることができる。さらに、これら全景を見渡せる高い位置に、大峰山（円弧北端）がある。

この恵まれた天然美「宝」を生かして、工夫を加えた「日本一」夢づくりを提案したい。

### 美しい松並み、海並み、夕陽並み

#### （1）円弧美観西向きでは日本一長い（図-1）

日本100選には名はないが、この松原は綺麗な円弧形の夕陽海岸であり、一部途切れた部分の植林を施せば全長完璧10kmとなり、日本三大松原（地図からの測定で、静岡県「三保の松原」約5km、福井県「気比の松原」約1km、佐賀県「虹ノ松原」約5km）より長くなる。

各松原海岸の整備保守が自治体単位で子供会も含めて行われ、新宮町の「盾の松原」では大きな松樹木に命名までされている。ただし、福津市側はレジャー施設が整っているものの、松原が約300m途絶え、遊歩道も一部未整備状態である。

日本三大松原（気比・虹・三保松原）の長さ比較



#### （2）地図での形はパラソル松原海岸（図-2）

この松原の帯は美しいアイラインにも見えるが、相島を柄の取手として開いたパラソルの横向き形にも似ている。新宮町では「パラソルの縁」と以前から称している。新宮町相島は、新宮町海岸からはもちろん、古賀市や福津市の福間・宮地・津屋崎の各海岸からも、真正面に身近に見える。

#### （3）国際交流の場であった相島

この相島は、江戸時代、朝鮮通信使が韓国から江戸への往復時の停泊地で、黒田藩が最大の接待をした国際交流の場所であった。その接待食材の積出港として、鐘崎港の名は残るが、津屋崎・福間・古賀・新宮の港も関係したことであろう。

また、相島は宮地嶽神社の参道延長線上の海に浮かび両者に歴史的繋がりを感じる。朝鮮通信使400年目の昨年（2018年）の宮地嶽神社秋季大祭からは、行列に韓国人スターも加わり国際的になっている。

相島を柄の取手とした  
パラソルの松原海岸



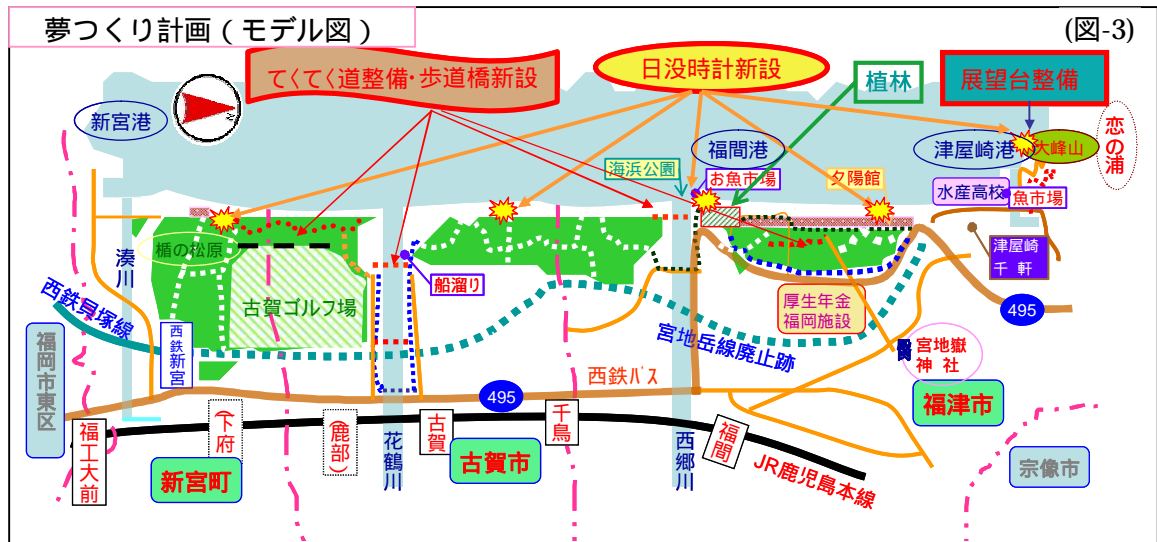
### 天然の夢づくり計画

この松原海岸は、「福間の歴史」によると室町時代の1500年頃迄は、広漠とした砂浜だったが、1600年江戸時代になり黒田藩の奨励もあって松植林が行われて防砂防風対策が施され、村落も生まれ、400年経過して今日の白砂青松の松原（住宅地にとっても防風保安林）となったようだ。

この美しく形造られた天然パラソル海岸線、及び植林松原を生かし、海辺歩道のほかに松原内遊歩道を繋ぐ「てくてく道」（と名づける）及び、玄界灘と「白砂青松」展望台並びに、水平線に沈むサンセットを科学的に楽しむ日没時計台など、「健康と美観と科学」の夢づくりを考える。

(1) 松原植林など4項目の整備(図-3)

毎夏の猛暑炎天下のウォーキングは特に高齢者には難しいが、松原遊歩道なら涼しく森林浴にもなる。下図4項目を整備した「てくてく道」及び「玄界灘・夕陽の展望設備」を提案したい。



【植林】福間港付近に延300mの松の植林で松原10km完壁化。

【松原内てくてく道等整備】(図-4)参考

年金施設付近の未整備区間のてくてく道整備、古賀ゴルフ場海側小道の拡幅と安全柵整備。

【2河川に渡し設備】てくてく道を繋ぐ「つり橋式可動人道橋」アイデア(図-5)

花鶴川の船溜上流に飛石道、西郷川に人道橋新設により、車道橋まで迂回しなくて済む。

【安心防犯対策】

松原内ウォーキングの安心のため、「日時とコース設定」ウォーク・ボランティア体制作り。



(てくてく道の見本)  
新宮町の「楯の松原」  
命名松もある遊歩道



片側ワイフで、  
上弦緊張と  
下弦緩和で、  
橋中央を2m  
揚げる原理

(2) パラソル海岸の白砂青松全景

【大峰山の展望台新設】(図-6)

日本海海戦記念碑がある東郷公園は展望園地とされ、昔は玄界灘が一望できたであろうが、現在は樹木が高く伸び、海は木陰からかすかに見えるだけだ。

ただし、春には桜に囲まれる。

ここに5m程の展望台を設けると、パラソル海岸、相島、玄界灘、立花山が見渡せると考える。

右の絵は、上空を舞うトンビの眼に映る映像の想像図である。





### (3) 科学心の日没時計の考案と設置

#### 【サンセット方位時計版】(図-7)

太陽日没位置は真西を中心に季節により左右し、地域で異なるが、福間浜の場合「福岡空港日の出・日没時刻表」の数値を用いる。扇状の放射座標に、日没方位毎の、日没時刻と月日をプロットすると、「変形 8 の字」曲線が生まれ、これを「サンセット方位時計版」と名付ける。

図では、サンセットは展望者から見て 2 月 21 日なら、相島と玄界島間の水平線上に 18 時頃、10 月 21 日なら 17 時 30 分頃と分かる。

#### 【時計台設置】(図-8)

各海岸と大峰山に、「サンセット方位時計」台を真西に設置、見える島名を表示する。この時計台により、水平線サンセットが見える位置と時間が予め分かり、サンセット撮影者、鑑賞者、子供達も楽しめるだろう。

#### 【相島花火】(図-9)

特別の記念日に相島で、花火を打上げれば各海岸から眺められる。

図は、最高山 60m 相島にて、10 号(高さ 330m・半径 160m)、30 号(600m・250m)花火を、福間浜から眺めた想像絵を示す。

#### まとめ

住んでいる地域の歴史や天然遺産の「宝」を再発見し、夢づくりとして住民の力と僅かな経費でこれらを蘇らせれば、地域発信もでき、住み自慢の街・地域に変わる。

「宮地嶽神社大注連縄」大きさ日本一の外、この「パラソル・サンセット海岸」も地域の誇りとなるう。

